



LBO ファイナンスの実施について

～成長戦略と事業承継の実現支援～

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、株式会社夢菓房たから（代表取締役：濱田 浩二、以下「たから」と JR 四国・リレーションシップ1号投資事業有限責任組合（以下「四国・リレーションシップファンド」）傘下の J・マルシェ株式会社（以下「J・マルシェ」）との資本提携に際し、『LBO ファイナンス※1』を実施しましたので下記のとおりお知らせします。

近年、事業承継や事業再編等の局面において、LBO ファイナンスの活用が進んでおり、企業の持続的成長を支える資金調達手法の一つとして、その重要性が高まっています。当行においても、こうしたお客さまの多様なニーズに対応する中で、本件のような『ストラクチャードファイナンス※2』への取組みを進めております。

当行は今後も地域金融機関として、お客さまの成長フェーズに応じたファイナンスを行うことで、地域経済の成長支援を継続してまいります。

※1 株式取得対象会社の信用力やキャッシュフローを担保として、企業買収を行う際に用いるファイナンススキーム

※2 特定の資産やプロジェクトから生まれるキャッシュフローを担保に高度な技術を用いて資金調達を行う手法

記

1. LBO ファイナンスの概要

昭和 11 年（1936 年）創業、『いちご大福』で知られる香川の老舗和菓子屋「たから」は、事業承継の実現と中長期的な成長戦略の推進を目的に、JR 四国が全額出資する四国・リレーションシップファンド傘下の J・マルシェと資本提携を行いました。本 LBO ファイナンスは、「たから」の中長期的な成長を見据えた資本提携に対し、百十四銀行が資金を供給したものであり、関係者と連携のもと、円滑に実行しました。

2. 「株式会社夢菓房たから」の企業概要

会社名：株式会社夢菓房たから

所在地：香川県高松市春日町 214 番地

業種：菓子製造業

「たから」は、昭和11年の『たからまんぢう』創業から今日に至るまで90年、『たからの“いちご大福”』といった看板商品をはじめ、四季折々の素材を活かしたフルーツ大福や創業当時から変わらない『栗みかさ』など、和菓子の伝統を大切に守りつつ、常に新しい驚きを感じさせる革新的なお菓子づくりを続けてきました。

今般、「たから」では、創業以来、変わることのない、お客さまを笑顔にしたいという“心”に基づき、これからも“お客さまに愛される和菓子屋さん”であり続けるため、四国・リレーションシップファンドを“資本と経営のパートナー”に迎えました。



8 備きがいも
経済成長も



以上